

中京区の洛和会丸太町病院は今秋、区内の10小学校に交通安全の啓発看板計20枚を寄贈した。中京署は5日、感謝状を贈った。

同病院を運営する「洛和会ヘルスケアシステム」は地域防犯や交通安全に関わるボランティア活動に力を入れている。看板はサッカ

ーボールを追いかけて車道に飛び出そうとする洛和会の公式キャラクターを描いており、校門近くや駐車場に置いてもらって児童に事故への注意を呼びかける。

同会の矢野裕典理事長は「子どもたちへの啓発活動に力を入れたい」と話し、田川英隆署長は「地域全体

飛び出し注意 啓発看板寄贈

中京の病院、小学校へ



児童に飛び出し注意を呼びかける看板（中京署で）

で交通安全への意識を高めていくうえで、協力に感謝しています」と話した。